



朝日新聞大阪本社
発行所:〒530-8211大阪市北区中之島3-2-4 電話:06-6231-0131
www.asahi.com

2010年(平成22年)

7月8日

木曜日

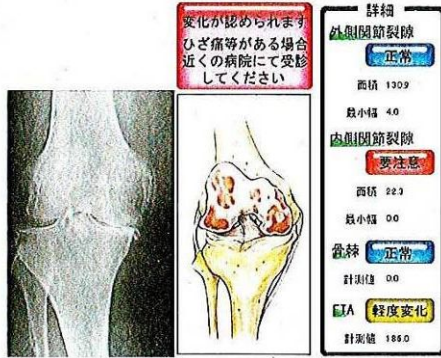
夕刊

- 23Doオフタイム
2小説 3メディア激変
4芸能 4囲碁・将棋
7文化 8910スポーツ
10BSデジタル・ラジオ
12環境
18総合 19金融情報

ひざ痛 診断基準作り

予備軍含め2500万人

ひざなど関節の変形で慢性的な痛みを悩まされる「変形性関節症」... 予備軍を含めひざだけで2500万人の患者がいるとみられ、厚生労働省研究班(主任研究者 中村耕三東京大教授)が統一した診断基準づくりを始めた。...



画像解析ソフトで、ひざが変形していると診断した事例=東京大提供

早期発見・予防に道

変形性関節症

関節の軟骨がすり減ったり、関節の周囲に骨のトゲが生じたりして、痛みや変形を引き起こす病気。股関節や手足・背骨の関節でも起こる。加齢や肥満、力仕事などで関節に負担がかかることが原因とみられる。軽症なら、筋肉を鍛える運動療法や消炎剤などで痛みを和らげることができる。...

2500万人という推計は研究班が2005、07年に和歌山県や東京都内の約3千人を調べて割り出した。自覚症状があるのは2〜4割にとどまっておろ、知らぬ間に病気が進行して、悪化しやすい。東大病院でもひざのケガなど別の治療でエックス線を撮って初めて変形性関節症と分かることも多いという。日本でも寝たきりの高齢者の約10%が関節の障害によるものだとの報告もある。東大の川口浩准教授によると、分かりやすい診断基準がないことが一因。骨粗鬆症は診断基準を作って病気を予防法が広く知られるようになった。しかし、変形性関節症は医師ごとに、関節部分に骨のトゲがあるか、関節のすき間と、分がかりやすい診断基準がないことが一因。...

が狭くなっているかなど見た目では判断しているので、ばらつきが大きいという。

解析ソフトも開発

変形性関節症でも、研究班として診断基準を作り、予防に役立てることにした。研究班メンバーの岡敬之東大助教が、エックス線の写真から変形性関節症の危険度を3段階で判定できる画像解析ソフトを開発した。ソフトでは、関節のすき間の面積、軟骨の一番薄い部分の状態、骨のトゲの大きさ、O脚かどうかなどを判定の材料とした。ソフトは広島県のソフト会社が発売した。医療機関向けで、すでに研究班メンバーがいる慶応大や新潟大、和歌山医大など8施設で導入。論文データなどを参考に医者が基準値を設定するがソフトを使って症例を積み重ねる。並行して学会などで基準値を議論する。

岡さんは「近くに整形外科の専門医がいらない高齢者でも、かかりつけ医で簡便で的確な診断を受けられることを目指したい」と話している。